



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、令和七年の元旦を、お幸せに迎えられたことと、お慶び申し上げます。今年も昨年と同様によりしくお願い致します。昨年、当初計画した、行事を実施することが出来喜んでおります。特に、総務部企画の三世代秋祭りでは、多賀中学校吹奏楽部の皆さんの演奏、サックス奏者桑原さんの演奏、環境に関する油縄子小児童の標語、多賀中生のポスター掲示など、盛大に実施することが出来ました。さらにレク部企画の盆踊り、ミニ運動会、青少年育成部企画の夏の集い等も盛大に実施出来たことも大変喜ばしいことと思致します。今年も、各部会で計画した行

新年のご挨拶
会長 白土敏夫

令和7年1月1日
第130号
発行 油縄子学区コミュニティ推進会
調査広報部
TEL (38) 7531
<http://www.net1.jway.net/jp/c-yunago/index.html>

事を盛大に実施できるように頑張つてまいります。特に、五年度に立ち上げた環境活動委員会の「ゼロカーボンタウン油縄子」につきましては、各家庭でもできる目標に向かって挑戦していただけるかと幸いです。新たな計画がありましたらその都度発信してまいります。

小学校・中学校・特別支援学校におかれましても、去年以上にスポーツ・勉学にと飛躍することを期待しております。又、特別支援学校においては、建て替え計画が順調に進んでいることは喜ばしいことと考えます。何をすることも、皆様のご協力がなければ何もできません。今年も多大なるご協力と、ご支援をお願い申し上げます。

新しい年を迎え、皆様ご家族の健康とご多幸を祈念しまして、新年の御挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願致します。



油縄子コミュニティ推進会・行事予定(1月~3月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	シルバーリハビリ体操	毎月第2木曜日
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	賀詞交歓会	1月11日(土)
おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)	学区連絡委員会	2月21日(金)
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	年末年始休館日	12月29日(日)~1月3日(金)
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	臨時休館日	1月4日(土)~1月5日(日)

日立市の 「くさゼロ運動」に沿った 除草作業の実施

照井 修

油繩子学区内にて先日九月二十九日(日)早朝から除草作業を実施しました。

近くの道路、諏訪表原バス停及び相馬の碑沿いの草刈りを実施し、役員及びボランティアにて約一時間行い、すっかりきれいにすることができました。

暑い中にもかかわらず、皆様のご参加、ご協力に感謝申し上げます。



防災訓練・運動会

十月二十日(日)に題記の行事を実施し、防災訓練では「初期消火作業」、「煙体験」及び「心肺蘇生の体験」を実施しました。

ひき続き五年ぶりに開催された運動会では、この間の諸事情の変化により、従来通りの展開が難しく、体育館でのミニ運動会としての実施となりました。



集団対抗の「大玉送り」では小学校の校長先生、教頭先生も助っ人として参加、「玉入れ」は一チームづつ時間制限(各チーム二回の合計)という新ルールでの玉入れと楽しく競技を進めました。

その後、全員参加の「パン食い競争」、「じゃんけん大会」が行われ、参加された皆様はたくさんのお賞品と笑顔で楽しいひとときを過ごされました。

ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様方、実行委員の方々に感謝申し上げます。

(根本弘道)

三世代 ゆなご秋まつり

十一月十日(日)秋晴れの下、題記行事が開催され、先ず多賀中学校吹奏楽部の楽しい演奏、その後サクソフォン奏者桑原愛朱美さんによるトークと演奏で盛り上げて頂きました。

広場では子どもたちがゲームに夢中。久しぶりに日立特別支援学校高等部の生徒たちの製品の展示・販売がありました。またフリーマーケットも盛況でした。模擬店では、親子連れで大いに賑わっていました。

多目的ホールでは、油繩子小の児童及び多賀中学校の生徒による「環境問題」をテーマにした標語やポスターを掲示し多くの方々が感心し、健康づくりコーナーでは若さチエックで列を作り、最後の抽選会では当選番号の度に歓声のため息、大盛況の秋まつりとなりました。

実行委員会の皆様には早朝からご協力頂きお礼申し上げます。

(照井 修)



学校だより

にこにこ・なるほど・
元気いっぱい

油繩子小学校長 石川 尚子

新年あけましておめでとうございませす。日頃より地域の皆様には大変お世話になっております。本年もご支援・ご協力をどうぞよろしくお願ひします。

さて、十一月十六日には大きな行事の一つである「メロディーフェスティバル」を開催しました。

創立七十周年を記念して、校歌の全員合唱から始まりました。発表のトツプバッターは三年生でした。低学年は合同で、台詞を織り交ぜた音楽劇を堂々と発表しました。中学年は、元気に歌い、生き生きと音を奏でていました。高学年の心を込めた歌声と、楽しそうな演奏からは、音楽の力を実感しました。

子供たちは、体育館いっぱいの観客の前で、一生懸命に練習してきた成果を十分に発揮できました。発表しているときの凍々しい表情や、終わってからのほっとした晴れやかな笑顔、他学年の歌や演奏に耳を傾ける姿からは、一人一



1・2年生合同合唱



3年生合唱



4年生合唱



5年生合唱



6年生合唱

人が音楽の素晴らしさを実感し、成就感や達成感も味わうことができたのだと思います。真剣に取り組む子供たちの力と、これからの可能性を感じた「メロディーフェスティバル」でした。
今回のタイトルは、本年度の本校の合言葉です。日々の教育活動からは、子供たちの輝く笑顔と真剣に学び合う姿や、運動を楽しむ様子も見られます。早いもので本年度も残りわずかです。三学期は、進級に向けて生活と学習のまとめに力を入れ、合言葉が達成できたかを振り返ります。

油繩子小学校 特別授業に参加して

泉 俊明

昨年に続き、今年も三年生に「計算尺」を紹介出来る機会を与えられたことに感謝申し上げます。

東京タワーは、昭和三十三年に完成しましたが、その時代は計算機はなく設計は「計算尺」と「ソロバン」で計算されていきました。父母も知らない「計算尺」という文具を操作して掛け算・割り算を簡単にこなす「答えが出た」「へー！」等、驚きの声は聞こえました。

「計算尺」の講義を通して「面白い・楽しい事に挑戦する」「目標を持って積極的に体験して頑張ってみる」「感謝する気持ちを持つ」「健康第一」と、話しました。

今回の経験がこれからの学校生活において一助になり健康で精進する事を祈っております。



ワイ 日本一になった!!

環境活動委員会だより

泉 俊明

皆様、ゼロカーボン活動につきましてでは日頃よりご協力頂きまして、有難う御座います。

さて、前半(三月〜九月)の成果は如何でしたか。

後半(十月〜令和七年三月)も「エコライフチェックシート」を配布しましたので引き続き無理せず取り組んで頂きたく宜しくお願い致します。

ご持参して頂いた方には、参加賞を差し上げます。

尚、左記に前半の取り組みに努力して頂いた内容を一部紹介致します。

エコライフ アンケート結果報告

1. エアコンの温度を調整し、扇風機と併用しました。
2. 食べ物は余分に買わず、食品ロスを削減しました。
3. ランプはLEDに交換しました。
4. 節電・節水に気を付けて生活しました。
5. 玄関にセンサーライトを付けました。
6. 生ゴミは土に返して肥料にしました。
7. ソーラーウォールライトを使い節電を図りました。
8. 雨水を溜めて水まきに利用しました。
9. 食事調理は電子レンジを使い、光熱費の削減を図りました。
10. テレビのつけっぱなしをやめました。

油繩子歴史散歩(十一)

嶋崎 敏

戦災の記憶 その三

■ 学徒勤労動員

第二次世界大戦が苛烈になってきた昭和十八年(一九四三)六月「学徒戦争動員確立要項」が閣議決定され、矢継早にこれに関する要項が決定、改訂された。いよいよ戦局が悪くなってきた昭和十九年二月、中等学校以上の学徒は「今後一年常時之を勤労その他非常勤務に出動せしめ得る組織体制に置き、必要に応じ動員すること」を決定した。この決定によって文部省から各都道府県に指示が出され三月ころから軍需工場などに続々学徒が送りこまれた。当初は一週六時間の授業が認められたが後にはこれも取り消され、女性学徒にも夜勤作業が要求された。

日立市の日立工場、多賀工場にも沢山の学徒が集められた。

多賀工場(桜川、国分、鮎川工場)には県内の学校は勿論、東北の各県から中等学校以上の生徒、学生が送り込まれた。(学徒以外でも商店の主人等は徴用工(応徴士)として、また家庭にいた二十五歳未満の未婚の女性も挺身隊として軍需産業に従事させられたので

ある)

□ 県内の学校

太田中、太田高女、湊高女、太子農林、市立水戸高女、水戸女子商業、太子高女、太田実践高女、太子師範、常磐高女、石塚実科、岩瀬高女、多賀工専

□ 福島県の学校

平工業、磐城中、田村中、双葉中、相馬中、会津工業

□ 岩手県の学校

黒沢尻工業、盛岡工専

□ 宮城県の学校

東北帝大、佐沼中古川商業、石巻中(宮城県教育史に日立多賀に二六二名とあるが内訳の記載はない)

□ 青森県の学校

弘前高校

□ 秋田県の学校

秋田日満工業

(動員等に関する学校の公的書類は戦後、指示により焼却処分されたため残っていないという。)

多賀工場ではこれらの学徒を収容するため寮を増設したり、河原子、水木の旅館を借り上げたりした。鮎川第一寮には挺身隊が、第二寮には学徒動員の高女生が入居していて、昭和二〇年七月十七日の艦砲射撃で多数の女性が犠牲になったことは前にのべた。大沼寮にいた福島県の中学生の手記

には食事の量が少なくもじもじい思いをしたことが述べられている。(多賀工場史にも会議の都度、引率の先生から食事の問題があげられたとある)

学徒の事故としては、田村中の生徒が大沼寮へ帰る時、鐵道の線路を通り事故死した。また、同じ田村中の生徒が機械作業で指を切断した事や盛岡工専の学生は鋳物作業で火傷を負った事が記録されている。

動員された学徒は、出身校での学校工場開設で帰郷したり、上級学校進学(農林、看護、軍関係)、配属工場の戦災、病気などで帰郷し、勤労動員解除となった昭和二〇年八月末には大分減少していた。



ヤスリ掛けする高女生

編集後記

我が家の玄関に「巳」にちなんで置き物を飾りました。それは愛らしいへびが宝に巻き付いた物です。その家の財を守ってくれる縁起物だそうです。財などありませんが、良い年を願いたいです。

年が開けると「新年の抱負」という文字をよく目にします。抱負とは、決意や計画を心の中で抱く事だそうです。運動・趣味・日記など新たに始めると良いとありますが、それを続けるのは大変です。

私は毎日、その日の出費や出来事、反省などを数行書いています。とても日記と言える物ではないですが、ある本に、「一行でもその日に向き合っって文を書き、夢や願望をひと言添えれば、自分を向上させる立派な日記になる」と書いてありました。

忙しい日は雑に書く事もありました。今年からは丁寧に心を込めて書こうと思えます。

(黒澤 優子)

